

目次

ご挨拶	マダドナーめぐみ	
目次		i
第 32 回日本語教育連絡会議日程		iii
参加者名簿		v
< 論文 >		
ゴンザの『新スラヴ・日本語辞典』にあらわれる 『В Н Ъ』(vne)という訳語について	いぬかい いて	1
EU 統合と日本語教育 今何をなすべきか	蓮沼 啓介	10
ICT を利用した読解授業について	李 在鎬	15
ウィーンの研究・日本語教育に携わった人々 — 戦間期を中心に —	小川 誉子美 重盛 千香子	23
評論的な随筆の読解 — 中国語を母語とする日本語学習者と 日本語母語話者の批判的な読みに関する質問紙調査 —	砂川 有里子 朱 桂栄	29
「くよくよしたってしょうがないよ」 — 評価表現を伴う「テモ/タッテ」構文の意味と機能 —	蓮沼 昭子	44
「発音と話し方」デジタルポートフォリオの紹介 — ベルギーのオランダ語圏の大学での実践報告 —	小熊 利江	62
常用漢字の字音を音符で見分ける — 長さの違いはどこから来たか —	黒沢 晶子	68
可能文に関する一考察 — 用例分析を通して —	村田 恵美	83
日本語学習者のカタカナ語と類義語との使い分け	山下 直子	90

— 産出文と自由記述の分析から —	畑 ゆかり	
海外における日本語教育の現状および教材の調査	・ ・ ・ ・ ・ ヨフコハ ⁴ 四位 エオハラ	100
— 初級・初中級編 —	稲葉 和栄	
	久保田 美子	
スポーツ言語学は日本語、日本語教育を救えるか	・ ・ ・ ・ ・ 清水 泰生	115
教科書索引を用いた科学用語分析	・ ・ ・ ・ ・ 坂谷内 勝	126
— 高校の数学・理科・情報 —		
学習者の「活動」の使い方について	・ ・ ・ ・ ・ 加藤 恵梨	132
学習者コーパスから見る名詞と形容動詞のゆれ	・ ・ ・ ・ ・ 若井 誠二	142
多読活動における読書コミュニティの出現	・ ・ ・ ・ ・ 高木伽 耶子	148
— 授業外多読の実践を通じて —		
＜機関報告＞		
スロベニアの日本語教育	・ ・ ・ ・ ・ 重盛 千香子	154
社団法人 独日協会フォーダープファルツ		159
市民大学 ラインラント＝プファルツ州 シュパイアー支部		160
ヴィータウタス・マグヌス大学		161
カーロリ・ガーシュパール・カルビン派大学日本学科		162